

令和7年度地域自立支援協議会交流会の開催報告

1 開催概要

- (1) 日時 令和7年8月26日(火曜日) 午前10時から午後4時30分
- (2) 会場 東京都社会福祉保健医療研修センター
- (3) 参加者 17区14市から89名(申込者96名)、都協議会委員18名、事務局・連絡調整会議委員等21名

2 目的

都内の地域自立支援協議会関係者の交流の場を設け、活動状況等に関する情報交換を実施し、各協議会の円滑な運営や活動の活性化を図る。

3 プログラム及び今年度の特徴

- (1) 話題提起
 - 東京都自立支援協議会からの情報発信
(3名の委員がそれぞれの立場から相談支援について発信)
 - トークセッション「当事者が望む地域生活を支える相談支援とは何か」
- (2) 13グループに分かれてのグループ討議(事前希望テーマによるグループ分け)
- (3) 全体会(各区市町村ごとの発表)
 - ※参加者から「グループ討議の時間を長くしてほしい」との声を受け、午前10時から午後4時30分までの終日開催に変更。
 - ※グループ討議では、参加者が希望したテーマに分かれ、意見交換を実施
 - ※全体会は、各協議会が当日の討議を自らの自治体でどう活かすかを中心に発表

4 参加者属性及び満足度(アンケート回収数:80)

- (1) 参加回数
 - 初参加 67%、2回目 17%、3回目以上 13%
- (2) 申込理由
 - 他自治体との交流・情報交換 58%、知識の再確認 43%
- (3) 話題提起の満足度
 - 非常に参考になった 52%、参考になった 44%(肯定的評価 96%)
- (4) グループ討議の満足度
 - 非常に参考になった 46%、参考になった 48%(参考 94%)

5 参加者の声

- ・相談支援と意思決定支援について、前向きなとらえ方ができた。
- ・意思決定支援の難しさを改めて感じた。
- ・当事者の話が聞けて良かった。グループ討議の人数がちょうどよかった。
- ・他の自治体の様子が分かった。
- ・自治体に持ち帰りたいことをまとめるために時間が足りないと感じた。
- ・特に教育との連携等の課題は、全都的な課題だと思います。担当者連絡会では、好事例の紹介にとどまらず、事務局間の意見交換ができる機会があると良い。

6 今後の展望

- ・グループ討議の時間や発表方法を工夫し、より内容を充実させる。
- ・当事者参画や自治体間の情報共有の強化を目指す。